

目 次

第一課	世界の中の日本語	1
	新出単語	
	文化・社会 言霊思想と「国語」意識	
	表現	
	ことになる	
	1. ～において・～における 2. いわゆる 3. ほど 4. ～を～とする	
	5. ～とは 6. いく 7. とか 8. ～ことになる 9. くる 10. 同士	
	11. として 12. つつ 13. いわば 14. こそ 15. なる 16. ～による	
	17. のだ 18. でも 19. という 20. いく 21. ～以上(は)	
	22. ～難しい 23. ～にすぎない 24. とも 25. ～ざるを得ない	
	使い分け 習う・学ぶ・勉強・学習	
	～になる・～となる	
	足す・加える	
	留意語句	
	練習	
第二課	ひとつ屋根の下で	22
	新出単語	
	文化・社会 「独居」と「孤独死」	
	表現	
	1. 重ねる 2. ずつ 3. ～付き 4. ほど 5. ゆったり 6. で 7. ては	
	(では) 8. 思い切って 9. ～て(で)よかった 10. とも 11. いく	
	12. 楽しむ 13. くる 14. きっかけ 15. 何とか 16. ～がする 17. た	
	び 18. はず	
	使い分け ～じん(人)・～にん(人)	
	勝手・わがまま・気まま	
	留意語句	

らない 14. 恵まれる 15. これといって～ない・これといった～ない
 16. ～にも拘わらず 17. 盛り 18. さ
 使い分け ひとしお・ひときわ・一段と
 膨らむ・膨れる

第十一課 天声人語 188

スーツケース別送

「失敗学」

新出単語

表現

1. 預ける 2. 浮く 3. ～ばよい・～ばよかった 4. はっと 5. まい
6. だって 7. どちらかと言えば 8. ～と引き替えに・と引き換えに
9. ～てばかりいる 10. はらはら 11. 作る 12. 要するに
13. では 14. 利く・効く

使い分け 夫婦・夫妻

留意語句

練習

第十二課 フェスティナ・レンテ 207

新出単語

表現

1. もの 2. わ 3. らしい 4. みたいだ 5. 折 6. せっかく 7. 知る
8. いくら～ても～ 9. ～かねる・～かねない 10. だけ 11. ～か
- と思ったら 12. に 13. ～ては(では)仕方(が)ない 14. に(も)
15. ～気味 16. ～なくて済む・～ずに済む 17. ～て初めて
18. ～にくい 19. どっさり

使い分け せっかく・わざわざ・わざと

～がたい・～にくい・～づらい・～かねる

とく・ほどく・ほぐす

留意語句

練習

(2)物事が進展・進行する。/进行,进展。

③プロジェクトは計画通りにいく。/项目按计划进行。

④今度のことはなかなかうまくいかない。/这次的事,进行得很不顺利。

⑤就職は思うようにいかない。/找工作不太顺利。

7. とか〈並立助詞〉

各種の語につき、活用語には終止形につく。

(1)物事を並べ、例示する。/……啦……啦,……也好……也好,或者……或者……。

①ノートとか鉛筆とか、すっかり用意して入学の日を待った。/准备好了笔记本啦, 铅笔啦等等,等待着入学的日子。

②手紙を出すとか電話をかけるとか、必ず連絡を保つのだよ。/或者寄信,或者打电话,一定要保持联系。

③僕が君のうちへ行くとか、君が僕のうちへ来るとか、その時になって決めればいい。/我去你家也好,你来我家也好,到那时再决定就行了。

④海へとか山へとか、夏休みの計画を立てることに夢中だ。/去海边啦,去山上啦,正热衷于制定暑假的计划。

(2)対立する二つの物事を並べて、それが未定であることを表わす。/……啦……啦,是……还是……。

⑤来るとか来ないとか、まだ迷っているようだ。/来还是不来,好像还拿不定主意。

⑥生きるとか死ぬとか大騒ぎだ。/一会要活,一会要死,闹得天翻地覆。

⑦そんなことはお断りだと、言ったとか言わなかったとか、まだ揉めている。/因为拒绝了那件事而在纠纷,也不知是不是真的那样说的。

8. ～ことになる〈連語〉

(1)自然の成り行きでそのような状態に変わる。/决定为,确定,形成。

①会議を重ね話し合った結果、大会は5月に開催することになった。/几次开会讨论后,决定5月召开大会。

②いろいろな事情から、結局、会社を辞めることになった。/出于种种情况,结果辞去了公司的工作。

③このようなチケットはキャンセルできないことになっている。/这类票按规定不能退票。

④最終的にはやはりあの二人の一騎打ち、ということになりますね。/最终还是那两个人一对一的对阵。

(2)当然の帰結に先に述べられた事柄から後の事柄が導き出される。/(也就)等于是……。

⑤君は会議の出席者だし、別に反対意見を表明しなかったから、君もその決議に同

表 現

1. かさねる【重ねる】〈他一〉

(1)ものの上に他の物を乗せる。／摺起,使重叠。

①大きさ別に皿を**重ね**ておく。／把盘子按照大小不同分别摺起。

②セーターの上にカーディガンを**重ね**る。／在毛衣套衫外面穿上对襟毛衣。

③トラックには荷物を3段も**重ね**て積んでいるので、荷崩れしないようにロープをかけた。／卡车上装载了3层货物,所以,用绳索绑紧,以防货物途中散开。

(2)ある行為を繰り返して行なう。／反复,多次。

④練習を**重ね**た結果、だいぶ上達してきた。／经过反复练习,有了很大进步。

⑤複雑な問題で、回を**重ね**た会議でも、明確な結論は出なかった。／是一个复杂的问题,在反复召开的会议上也没有得出明确的结论。

⑥研究に研究を**重ね**、実験では度重なる失敗の末、新製品の開発に成功した。／反复地研究,实验中经历了多次失败,终于成功地开发出了新产品。

⑦女手一つで苦勞に苦勞を**重ね**て、三人の子供を育てた。／靠着一个纤弱女人的力量,饱尝艰辛,培育了三个孩子。

(3)(時間を示す語について)長い時間を過ごす。／度过。

⑧マージャンのほかはほとんど一日中テレビを見てばかりいて、無為に日を**重ね**ている。／除了打麻将几乎整天看电视,日复一日地虚度光阴。

⑨あのお寺は、年を**重ね**た老松が有名だ。／那座寺庙以经年的老松树闻名。

2. ずつ〈副助詞〉

その数量が関係するすべてに等しく割り当てられる関係、または一定の数量で繰り返される関係を表わす。／各,每。

①机と椅子を一つ**ずつ**用意する。／各准备一张课桌和一把椅子。

②一人一つ**ずつ**取ってください。／请每人各取一个。

③二人に一本**ずつ**の割合で配る。／按照每两人一根的比例分发。

④三人**ずつ**で手を組んでください。／请每三人手拉手(作一组)。

⑤毎日三十分**ずつ**ジョギングする。／每天慢跑三十分钟。

⑥毎月少し**ずつ**貯金する。／每个月都存一点钱。

⑦六時間おきに三錠**ずつ**飲んで下さい。／请每六小时服用三片。

3. ～つき【～付き】〈接尾語〉

「づき」と読むことがある。名詞について、そのものが付帯している事を表わす。／帯……,帶有……。

①この時計は3年間の保証**付き**だ。／这种手表保修3年。

发遇到了难关,希望能找到一个解决办法。

②この問題を解決しないと、前へは進めないから、何とかしなければならない。/
不解决这个问题就无法前进,所以,必须设法解决。

③お困りであろうことは重々承知しておりますが、そこを何とかお願いいたします。
/我深知您很为难,但这一点希望您一定帮忙。

④そう深刻に考えなくてもいい、何とかなるだろう。/不必把事情看得那么严重,
总会有个办法的。

⑤こちらはもう万策尽きて、おすがりするしかありませんが、何とかありませんで
しょうか。/我们已经无计可施了,只好请求您,能帮我们想个办法吗?

(2)あらゆる手段を取って、やっと実現する様子。/好容易,勉强。

⑥夜遅くまで資料を調べたりして、レポート提出は何とか間に合った。/查资料一
直查到深夜,好容易按时提交了研究报告。

⑦何とか釈明はしたものの、どうも嘘っぽい感じがする。/他勉强做出了辩解,但
总感到像是撒谎。

⑧医者懸命な救命措置で何とか一命だけは取り止めた。/经医生全力抢救勉强
保住了性命。

⑨不況の中の卒業で、三十以上の会社を駆け回ったが、何とか就職できた。/毕业
赶上萧条时期,跑了三十多家公司,好容易找到了工作。

16. 〜がする〈連語〉

体の一部、または全体で感じられる。/感到,听到,闻到。

①朝、目が覚めると、あたりでしきりと小鳥の鳴き声がしていた。/早上醒来时,听到
四周不断传来小鸟的叫声。

②台所からおいしそうなおいがしてくる。/闻到从厨房飘来的香味。

③夕べから何となく寒気がする。どうも風邪を引いたようだ。/从昨晚起总感到身
上发冷,像是感冒了。

④バスを降りた時にちょっとめまいがした。/下公共汽车时,感到一阵目眩。

⑤いったいどうなるんだろう。どうもいやな予感がするね。/到底会怎样呢?我有一
种不祥的预感。

17. たび〔度〕〈形式名詞〉

連体修飾語を受けて、「〜たびに」の形で使う。毎回その時例外なく。その都度。/
每当,每次。

①あの子は会うたびに大きくなっている。/那孩子每次见到都长大一些。

②あの二人は顔を合わせるたびに喧嘩する。/那两个人每次见面都吵架。

③この写真を見るたびにあのころの楽しい日々が思い出される。/每次看到这张照

第三課 発話の目的と発話されたことばの形

水谷 修

「あ、雨だ」と「あ、雨だよ」

話しことばというものが、書いたことばは勿論のこと、音声として口から発せられることばであっても、テレビやラジオのニュースの場合のようにいわば音声による書きことばのようなものとかかなり異なった性質をもっているものであることは明らかである。

日常生活の中で、我々が人と話し合う場合には、さまざまな状況が考えられるが、どんな場合にでも、それぞれに話す目的が存在するものである。自分自身の考え、あるいは、感情をひとりごとのごとくに表出するという場合もあるであろうし、あるいは、友人に対してある情報を伝えようという場合もある。さらには、話し手が聞き手を行動させようとする場合もあり得る。このように、ある発話行為をする裏には必ず目的があつて、発話行動というものが成り立っているわけである。ここで考えなければならないのは、この場合の発話の目的と発話されたことばの形が必ずしも一致していないということである。気軽に考えれば、ある一つの発話されたことばの形は目的と一致していると考えやすいが、事実はそれほど簡単ではないようだ。

たとえば、我々が部屋の中にいて窓の外を眺めているとしよう。と、空が曇ってきて雨が降り始める。それを見て、

「あ、雨だ。」

と、ひとりごとのように雨が降ってきたことを口にすることがある。聞いている人が誰もいなくてもこの行為は行ない得るわけである。これが、雨が降って来たという事実を家族の誰かに伝えようすると、

「あ、雨だよ。」

というような、明らかに人に伝えているという形に変わって来る。さらに、雨が降って来た、外に干してある洗濯物を取りこまなければならない、取りこんでくれという意味を伝達する場合には、

「雨だよ。洗濯物を取り込んでよ。」

反省[はんせい]⑩<名・他サ>	語; 嘟嘟囔囔; 发牢骚, 抱怨。
示唆[しさ]①<名・他サ>	自分の言動を振り返って、その成否を考えてみる こと。/ 反省, 自省。
濡れる[ぬ]③<自一>	それとなくほのめかすこと。/ 揭示, 启示, 启发。
上司[じょうし]①	湿, 沾湿, 润湿。
たまたま[偶々]⑩<副>	上级, 上司。
実感[じっかん]⑩<名・他サ>	1) 偶然, 碰巧。2) 偶尔, 有时。
もらす[漏らす]②<他五>	実際に感じること。/ 实感, 真实感。
何らか[なん]④①<副>	1) 液体、気体、光などを隙間や小さい孔から少し ずつ外に出るようにする。/ 露出, 泄漏出。2) 感 情などを思わず表情に出す。/ 流露。3) 隠してい た本心などを不注意またはひそかに口に出して 言う。/ 流露, 透露, 说出。
ひょいと①⑩<副>	程度をはっきり指定できない様子。ある程度。/ 稍微, 一点儿, 某种。
本来ならば[ほんらい]①<副>	1) 思いがけず、急な様子。/ 无意中, 突然。2) 意図 せずに、何となく。/ 不经意地, 不由自主地。3) 軽 がると。/ 轻轻地, 轻易地。
配慮[はいりょ]①<名・他サ>	当たり前の筋道から言えば。/ 从道理上讲, 本来。
斟酌[しんしゃく]①⑩<名・他サ>	心を配ったり気を使ったりすること。/ 关怀, 关 心, 照顾。
訴える[うった]④③⑤<他一>	相手の事情、心中などを推察すること、またそれ により手加減すること。/ 体谅, 体察, 考虑到。
希求[ききゅう]⑩<名・他サ>	1) 判定してもらうために裁判所などに申し出る。/ 起诉, 控告。2) 共感や同情を得るため苦痛や主張な どを他人に告げる。/ 诉说, 倾诉。3) 問題を解決す るため力などに頼る。/ 诉诸……, 求助于……。4) 相手の感覚や感情に働きかける。/ 施加影响, 感动。
間柄[あいだがら]⑩	願い求めること。強く求めること。/ 祈求, 希望 得到。
ちゅうちょ[躊躇]①<名・自サ>	人と人との関係。/(人與人之間的)关系。
思いやり[おもいやり]⑩	躊躇, 犹豫。
	他人の立場に立って考えること、またその心。/ 体谅, 同情, 关怀。

④お願いだからちょっと手伝ってくださいよ。/求求你,给我帮帮忙。

⑤ほしただけ、早く取れよ。/你想要多少,快点拿好了。

12. はこぶ【運ぶ】〈自他五〉

計画にしたがって事を次の段階へ進める。/推进,进行,办;进展。

①事を運ぶ。/办事。

②会議を予定通りに運ぶ。/按原定计划开会。

③本日、展示即売会を催すことができるように運んでまいりました。/为使展销会今天能够在这里举办,我们做了大量的工作。

④絶対、成功するよう運んでいきたい。/一定要办成功!

⑤ことが思惑通りに運ばない。/事情未能像所希望那样进展。

13. ～ではないか〈連語〉

口語では「～じゃないか」とも言う。後に「～と思う」などを付けると、婉曲表現になる。

(1)文の後について反問を表わす。/(难道)不是……吗?

①いいではないか。/不是行了吗?(或:行吧?)

②両者は矛盾ではないか。/两者不是矛盾吗?!

③さんざん注意したではないか。/不是反复提醒过吗?!

④彼が反対するのではないかと思います。/我想他也许会反对。

(2)助動詞「う・よう」で終わる文について、呼びかけを表わす。/让我们……吧!

⑤この運動の成功のために立ちあがろうではありませんか。/让我们为了这一运动的成功而行动起来吧!

⑥近代化達成のために一致団結しようではありませんか。/让我们为了实现现代化而团结一致吧!

14. な〈終助詞〉

内心で考える内容を表わす。感嘆、願望などの意味を含むことが多い。

①彼も来ていればいいなと思いながら入ってみると、果たして彼も来ていた。/心里想着,他要是也来了就好了,进去一看,他果然来了。

②それでいいんじゃないかなと思います。/我想这不就行了吗。

③いつもより暗いなと思い、よく見ると、電球が一つ切れていた。/觉得比平时暗,仔细一看,一个灯泡坏了。

15. まま【儘】〈形式名詞〉

(1)普通の名詞と同じ接続だが、用言を受けるとき、「が」を介することがある。成り行きに任せること。/任凭……那样,随心所欲,如愿。

①人の言う(が)ままになる。/完全按照别人吩咐的做。

不错,而不愿练习是一个问题。

③計画**そのもの**はよくできていると思うが、問題は実行力だ。/我认为计划本身制定得很好,问题是实行能力。

(2)形容動詞語幹について、正にその状態であるという意を表わす。/非常,极其。

④彼は誠実**そのものだ**。/他非常诚实。

⑤彼のまじめ**そのもの**の態度が高く評価されている。/他那极其认真的态度得到高度评价。

留意語句

さまざま それぞれ 独り言 あるいは 更に 裏 必ずしも 気軽 それほど 口にする 取り込む 自身 示唆 結びつく つぶやく たまたま すると ひょいと そこで 本来ならば 斟酌 思い遣り 傷つける 甘える 味わう

練習

(一)次の各文を完成しなさい。

1. 花粉症の人は花粉を_____と、くしゃみも涙も出る。
2. 客ひきは結局は_____。
3. 長時間の高速道路走行は_____。
4. _____準備した上で開店申請をしよう。
5. 春_____, 気候がよくて旅行に最適だ。
6. _____が、もうちょっと時間をくれないか。
7. 疲れたときは、温泉_____行くといいですよ。
8. 喜んで_____と、買ってきちゃった。
9. そういうわがままは絶対_____。
10. むやみやたらと_____と頼むにもほどがあるぞ。

(二)次の各文の a・b・c・d から最も適当なものを選びなさい。

1. でんか生活はハイテクのおかげで、便利になった。
a 殿下 b 電化 c 電荷 d 伝家
2. 日本語案内があると聞いて、_____。

⑤これは先生でさえもわからない問題です。/这是连老师都不懂的问题。

⑥七月になって、小雨さえも降らない。/到了七月，竟连毛毛雨也不下。

10. ～させられる〈連語〉

動詞の未然形に「せる」「させる」がついたものに、さらに受身の助動詞「られる」がついて、「せられる」「させられる」となる。この使役受身の表現は、自分の意志によらず、強制されることを表わす。また五段動詞の場合、「せられる」がよく「される」となる。/被迫，硬让，迫不得已。

①彼は悪いことをして、会社を辞めさせられた。/他因干了坏事而被迫辞职。

②医者にみてもらうと、薬をのまされるのでいやです。/请医生看病，就要被强迫吃药，所以我不喜欢。

③目の前のすばらしい景色に感動させられた。/我为眼前的美丽景色所感动。

④この子は毎日4時間ほどピアノの稽古をさせられている。/这孩子每天被逼着练习弹钢琴4小时。

11. かかる【掛かる】〈自五〉

(1)ぶら下がる。/挂，悬挂。

①たこが木の枝にかかる。/风筝挂在树枝上了。

②壁に地図がかかっている。/墙上挂着地图。

(2)雲や霧で覆われる。/覆盖，蒙上，笼罩。

③霧がかかる。/云雾笼罩。

④山の頂に雲がかかる。/云罩山巅。

(3)費用・時間・人手などが必要とされる。/需要，花费，用。

⑤増築するのに百万円かかった。/花了一百万日元增建房子。

⑥1時間もかからないうちに本を読んでしまった。/没用1个小时就把书看完了。

⑦この仕事なら、かなりの人手がかかる。/这项工作需要很多人手。

(4)機械などが作動する。/开动，发动，启动。

⑧寒いので、車のエンジンがなかなかかからない。/因为天冷，汽车的引擎很难发动。

⑨ラジオがかかった。/收音机响起来了。

(5)引っかけあって捕らえられたりだまされたりする。/上当，中圈套，陷入。

⑩かれのわなにかかった。/中了他的圈套。

⑪敵の手にかかって殺された。/遭到敌人杀害。

(6)何かに依存する。/依靠，依赖；靠，依。

⑫子供の世話が自分にかかっている。/孩子靠我来照顾。

⑬病気で医者にかかる。/生病看医生。

動詞の連用形につく。その動作を行ったままで、放置しておく意を表わす。/(一直保持某种状态或该处理的没处理)放置不管,置之不理;一直。

- ①本を置き**っぱなし**にする。/把书放在那儿不管。
- ②人から物を借り**っぱなし**にするのはよくない。/借别人的东西不还可不好。
- ③ラジオをかけ**っぱなし**で眠っている。/开着收音机就睡着了。
- ④床を敷き**っぱなし**で会社へ行ってしまった。/被子没有叠就上班了。
- ⑤留守の時、窓を開け**っぱなし**にしてはいけない。/人不在家时,不能开着窗户。
- ⑥あの子は泣き**っぱなし**だよ。/那孩子一直在哭呢。

16. ～につれて『～に連れて』(連語)

名詞、用言の連体形につく。一方の状態の変化に平行して、他方の状態も変化することを表わす。…にしたがって。…に応じて。/伴随着,随着。

- ①音楽**につれて**踊りだす。/随着音乐跳起舞来。
- ②この本は終わりに近づく**につれて**、面白くなってきた。/随着接近尾声,这本书变得精彩起来了。
- ③日が経つ**につれて**忘れる。/随着时间的流逝而忘却。
- ④年を取る**につれて**、経験も豊富になる。/随着年龄的增长,经验也就丰富。
- ⑤生産コストが下がる**につれて**、小売価格も下がってくる。/随着生产成本的下降,零售价格也降了下来。

使い分け

ぎりぎり・すれすれ

「ぎりぎり」は、それを超えると許容できないという限度に非常に近い状態であること。例えば、「ぎりぎり生活できる広さ」「ぎりぎり5人入れる部屋」。「すれすれ」は客観的にある基準となるもの、あるいは想定できる基準となるものに近い状態を表わす。例えば、「カモメが海面すれすれに飛ぶ」「川が増水して道すれすれになる」。また、「ぎりぎり」は限度に非常に近いながらも何とか限度内に収まっているところに重きがあり、「すれすれ」は限度を超えそうだとするところに重きがある。「時間ぎりぎりに間に合う」「違法すれすれの行為」。

思わず[おも]②〈副〉

识别(力), 鉴别(力)。

特にそうしようという気持ちがない様子。無意識に。/情不自禁地, 不由地。

けふる[煙る]⑩〈自五〉

1)けむりが立ちのぼったり、立ちこめたり、たなびいたりする。/冒烟。2)霞や霧などが立ちこめたり、たなびいたりする。あたりがぼんやりとかすむ。/模糊不清, 朦胧。

ハシケ[舢]③④

舢板, 驳船。

ついに[遂に]①〈副〉

1)行為や状態が、最終的に実現する様子。/终于。

2)一つの行為や状態が、ずっと最後まで持続する様子。/直至最后。

上陸[じょうりく]⑩〈名・自サ〉

船をおりて陸地に上がる。また、陸に上げる。/登陆, 上岸。

そのはず[その筈]⑩

そうあるべきこと。当然なこと。/理所当然, 理应如此。

縦断[じゅうだん]⑩〈名・他サ〉

縦または南北に通り返けること。/纵断, 穿过。

税関[ぜいかん]⑩

海关。

雑務[ざつむ]①

種々雑多の用務。こまごまとした仕事。/杂务, 琐事。

トレーラー②

動力装置のある牽引車(トラクター)に引っぱられて、荷物や旅客を運搬する付属車両。/(汽车等的)拖车。

雑多[ざった]⑩〈形動〉

いろいろな種類のものが入りまじっている様子。/各种各样的, 好坏混杂的。

リスト①

一定の目的にそって、多数の品名や人名、価格などを整理して書き出したもの。一覧表。/名单, 名簿; 目录, 一览表。

タイプ①

1)複数の物・人・事物について、ある類似性を持つことによって分類された型。/类型。2)打字机; 用打字机打字。

モザンビーク④〈地名〉

莫桑比克。

マプト①〈地名〉

马普托(莫桑比克首都)。

ロレンソ・マルケス⑦〈地名〉

洛伦索马贵斯(马普托的旧名)。

気さく[き]⑩〈形動〉

性質や人柄が、さっぱりしてこだわらない様子。

無闇[むやみ]①〈形動〉

どもる[吃る]②〈自五〉

聞きつける[きき付ける]④〈他一〉

未知[みち]①

フレイタス③〈人名〉

飲み歩く[の・ある]④〈自五〉

気配り[きくば]②〈名・自サ〉

便宜[べんぎ]①〈名・形動〉

差し向ける[さ・む]④⑤⑩〈他一〉

南欧風[なんおうふう]⑤

家々[いえいえ]⑩③

点在[てんざい]⑩〈名・自サ〉

澄み切る[す・き]⑩〈自五〉

オレンジ色[いろ]⑩

リスボン①〈地名〉

優雅[ゆうが]①〈名・形動〉

暑気[しょき]①⑩

じわっと②〈副〉

半そで[はんそで]⑩④

気のおけない様子。/坦率,直爽。

1)前後を考えない様子。理非を分別しない様子。/胡乱,任意。2)度を越すこと、また、その様子。/过分,过度。

ものを言う時に、なめらかに声が出なくてつかえたり、同じ音を何度も繰り返したりする。/口吃,结巴。

1)聞きなれている。/听惯。2)偶然聞いて、そちらに注意を向ける。/(偶然)听到。

まだ知らないこと。まだ知られていないこと。/未知。

福莱塔斯。

あちこちの店に立ち寄って酒を飲む。/喝了这家到那家,串酒馆。

いろいろと気をつけて注意すること。心遣い。/细心注意,谨小慎微。

1)都合のよいこと。/方便,便利。2)その場その場に適応した処置、また、特別のはからい。/权宜。

遣わす。派遣する。/派,差遣,送去。

南ヨーロッパ式。/南欧式。

家ごと、また多くの家。/家家,户户,各家,每家。

ばらばらと散らばって存在すること。散在。/分散在,分布。

1)水や空気などに汚れがなく、澄みわたる。/清澈。2)心に迷いが全くなくなる。/(心)开豁,豁然开朗。

橘黄色,橙黄色。

里斯本(葡萄牙首都)。

1)やさしくみやびやかなこと。上品で美しいこと。/优雅。2)のんびりする様子。/悠闲。

夏の暑さ、また、そのころ。炎暑。暑熱。/暑气。

ごく軽く静かに力が加わる様子。/轻微而安静地,慢慢地。

ひじくくらいまでの長さの袖、また、その衣類。/短

6. 壊れやすいものだから、_____ 持ってください。
a こっそり b さっさと c そっと d ゆったり
7. 本を片付けたら、部屋の中が_____ した。
a あっさり b さっぱり c じっくり d すっきり
8. 私は飾りの少ない _____ な洋服が好きだ。
a ゴージャス b ドライ c オープン d シンプル
9. 兄弟げんかをする、母は弟の _____。
a 手を取る b 肩を持つ c 頭を抱える d 腕を振るう
10. 彼とは一度 _____ 話し合う必要がある。
a 腹を割って b 腰を抜かして c 頭を痛めて d 目をつぶって

(三) 次の質問に答えなさい。

1. 「その方向から小さな木の小舟が一直線に近づいて来る」(P68、本文 5 行目)とあるが、「その方向」とは具体的に言えばどの方向か。
2. 「その中に見えるはずの人体の細部」(P68、本文 12 行目)とあるが、「その中」とは具体的に言えば何か。
3. 「その途端、私の身は忙しくなった」(P68、下から 8 行目)理由は何か。
4. 「フレイタスという名のその人物は……なくてはならない存在となった」(P69、4 行目)原因は何か。
5. 「彼はこまめに気配りを見せ」(P69、7 行目)とあるが、「気配りを見せる」と同様の意味の表現をこの文章の中で指摘しなさい。
6. 筆者がアフリカのマプトという町から受けた感じはどうだったか。

(四) 次の各文を日本語に訳しなさい。

1. 看来双方本着相互尊重、相互理解的原则,就目前国际形势等大家共同关心的问题充分地交换了意见。
2. 工作了一天的小王晚上回到家,洗了个澡,换去了带汗味的衬衫,顿时感到浑身轻松。
3. 电视里一响起动画片(アニメーション)的主题歌,屋子里的孩子们就欢快地跳起舞。
4. 昨天爸爸特意叮嘱(念を押す)我说不要碰这个东西,今天我却不小心碰了它,结果把它弄坏了。
5. 不知何故,这孩子不爱学习,每天光在外面玩。对此,他父母也好像束手无策。
6. 为了增强体力,我从小就每天早上都坚持锻炼(鍛える)身体 30 分钟左右,风雨无阻。

術を組合わせることで、革新的な開発成果を上げることができた格好の事例である。特にこれから二十一世紀に向かって、このような技術融合または技術の複合化の重要性がますます高まってくると言える。

つまり、これからは集団、グループによる創造の時代に入ると言っても過言ではない。もちろん従来のように、それぞれ専門技術分野別に研究チームを編成し、専門分野の先端技術を深く掘り下げて行くことは非常に大切だが、同時にこれからは他分野の技術の動向にも鋭く関心を持ち、他分野の技術と複合・融合して何が創造できるかを考えるべきだ。そのために、創造的技術者に求められる素養は、技術全体の流れをマクロに眺め、その中での自分の研究開発の位置づけを、明快な視点の下に見据えられることである。

このような視点は、従来は研究のマネジメントにのみその職務として求められていた。これからは、一線の技術者、研究者の一人ひとりにこの視点が求められる。これは次の二つの理由による。

第一の理由は、自ら技術の複合化による創造を提案するチャンスに挑戦することが大切だからだ。場合によっては複合化でなく、自分の専門分野の技術が他分野の技術を置き換えてしまうような、競合技術戦争をしかけてそれに勝つチャンスさえ見えてくる。CDの直後に開発の始まったDAT(デジタル・オーディオ・テープレコード)は、光の競合技術である磁気テープ記録技術で、録音機能のないCDに戦いを挑んでいる。近い将来、録音できるCDが広く普及するだろう。このようないい意味での技術競合は、創造的な成果を生み出す活力にもなる。

第二の理由は、研究者個々人が、技術の複合、融合によって生まれる創造に対して正しい認識を持っていないと、グループによる創造活動がうまく進まないばかりか、失敗につながることもさがあるからだ。複合する相手の技術のおかげで自分の開発した技術も生かされるのだという謙虚な気持ちが大切である。

技術者や研究者はだれしもNIH(ノット・インベンテッド・ヒア)のマインドがあり、グループではなく私個人でやったのだと主張したがるものだ。そのようなマインドも創造的な成果を生み出す活力として大切にしなければならないが、技術融合の時代には、自分の成果を低目に、そして協力技術を高く評価するぐらいの、相手の立場に立った協調性に富んだ共同研究姿勢が重要になってくる。

幅の広い豊かなパーソナリティが、今まで以上に研究者に求められる時代になったと言える。あの人のためなら何でも協力してしまいたいと、周辺の人々に思わせる雰囲気や常を漂わせることができるような技術者になるべきだということである。

最後にもう一つ大切なことを付け加えておきたいと思う。このような技術融合の時代を迎えて、複合化、融合化によって何かを生み出すときには、それを推進する組織

緻密[ちみつ]⑩<形動>

1) 組み立てがこみいって、優れている様子。/ 细致, 周密, 周到。2) きめの細かな様子。/ 细致, 细密。

没頭[ぼつとう]⑩<名・自サ>

一つのことに熱中すること。/ 埋头, 专心致志。

むら[斑]⑩

1) ものごとがそろわない。統一がないこと。/ 不稳定, 易变。2) 色の濃さが一様でないこと。まだら。/ 颜色不匀, 斑驳。

つく[付く]①<自五>

運がよい。/ 运气好。

早計[そうけい]⑩

早まった考え、計画。/ 轻率, 过急。

補強[ほきょう]⑩<他サ>

補って強くすること。/ 增强, 加强, 补强。

もろとも[諸共]⑩

ともども。/ 一起, 共同。

リスク①

危険, 风险, 危机。

蓄える[たくわ]④<他一>

ためておく。/ 积蓄。储备。

インフォーマル・ミーティング⑩ー①

非正式会议。

聡明[そうめい]⑩<形動>

聪明。

マネジメント③<名・他サ>

1) 经营者。管理部门。2) 经营, 管理。

天性[てんせい]⑩①

生まれつきの才能, 性質。/ 天性, 秉性。

発掘[はくつ]⑩<名・他サ>

发掘。发现。

拔擢[ばってき]⑩<名・他サ>

すぐれた人をひきぬいて使うこと。/ 提拔, 提升。

悟る[さと]⑩②<他五>

1) 明らかに理解して見抜く。/ 领会, 理解。2) 感づく。/ 觉察, 发现。

心境[しんきょう]⑩

精神の状態。気持ち。/ 心境, 心情。

限定[げんてい]⑩<名・他サ>

人数・数量・程度などを限って決めること。/ 限定, 限制。

感激[かんげき]⑩<名・自サ>

激しく感動すること。/ 感动, 感激。

一線[いっせん]③⑩

1) はっきりしたくぎり。/ 一道界线, 一条线。2) 第一線。/ 第一线。

画する[かく]②<他サ>

線を引いてくぎる。/ 划分。

サイエンス①

科学。

エンジニアリング⑥

工程, 工程学。

かねがね②③<副>

ずっと前から。以前から。/ 很早就, 很久以前。

サムシング①

某, 某物, 某事。

欲求[よつきゅう]⑩<名・他サ>

ほしがること、求めること。/ 欲望, 渴望。

満ちる[み]②<他五>

満ちるようにする。/ 满足, 使充满。

る。『嵐が丘』や『テス』はそういうコースのスタンダードになっているが、最近ではE・M・フォスターの『眺めのいい部屋』や『モーリス』がその仲間入りをして、フォスターならもっといい作品があるのに、と教師を嘆かせるのである。

情報は溢れているのに正確に把握していないという風潮は、『罪と罰』や『車輪の下』を英文学だと思いつく学生を生む。あるいは『モモ』を卒論にしたいという英文科の学生を生む。しかし、こうしたことも好意的に解釈すれば、彼等の意識がグローバルだということかもしれない。それに各国の文学作品が年々増加していることを考えれば、年若い学生たちが混乱したとしても不思議ではない。実際、三十年前の英文学史と今の英文学史とを比べたら、その差に圧倒されるだろう。あと百年もしたら、どうなるのであろう——自然科学の分野では質と量の進捗度はもっと大きなものであろうから、百年後のことを考えると、英才教育の必要性を唱えたいのも当然である。

しかし一方で、ごく新しい作品に関しては、教師より学生の方がよく知っているという場合も十分に起り得る。既に某国立大学の卒論題目に80年代の作家が登場しているが、卒論指導システムのある大学であつたら、指導する教師の方が大変であらう。今や、教師は古いことを沢山知っているというだけでは学生の相手はつとまらない。そしてまた、教師と学生の間に意識のずれがあるのも確かである。

たとえばT・S・エリオットは四十年前には同時代の詩人として当時の学生たち——今の教師たち——に読まれていて、その技法は非常に新鮮で魅力あるものとして受け取られていたが、今の学生たちはエリオットの技巧が新鮮なものだなどとは誰も思わない。当時としてはショッキングだったと説明しても、彼等にしてみればありふれたものでしかないので、理解し難い「新鮮さ」である。かくて青春時代の残像を抱いたまま齢を重ねて来た教師たちは、歯がゆい思いをするのである。

今の学生にとっての同時代の詩人はヒューズでありヒーニーであり、それ以後の詩人たちのだ。英文学史をろくに知らないくせに新しいものばかり追いかけやがって、などと悪態を吐きながら、教師は学生が話題にする新しい作家や詩人の作品をあわせて読むことになる。十年ほど前に「シェイク・スピア」と卒論の中で綴った男子学生がK大学にいたが、教師に嘆きの材料を提供した点では勲章ものかもしれない。その卒論がジョン・レノン論であつたのも象徴的である。学問の大衆化の一面、と言えるのかもしれない。シェイクスピアの時代には、彼の名前の綴りなど、何通りでもあつたのだが。

書物を床の上になど置くものではない、まして跨ぐなどもってのほか、という躰を受けて来た世代とは違って、今の学生にとって本は単なる紙の集まりであるらしい。コピーをしてしまうと、本はコピーと等価物に成り下がり、貴重品などではなくなる。テキストや辞書の学内での忘れ物が年々ふえる傾向にあるのも、本の価値の下落を表